

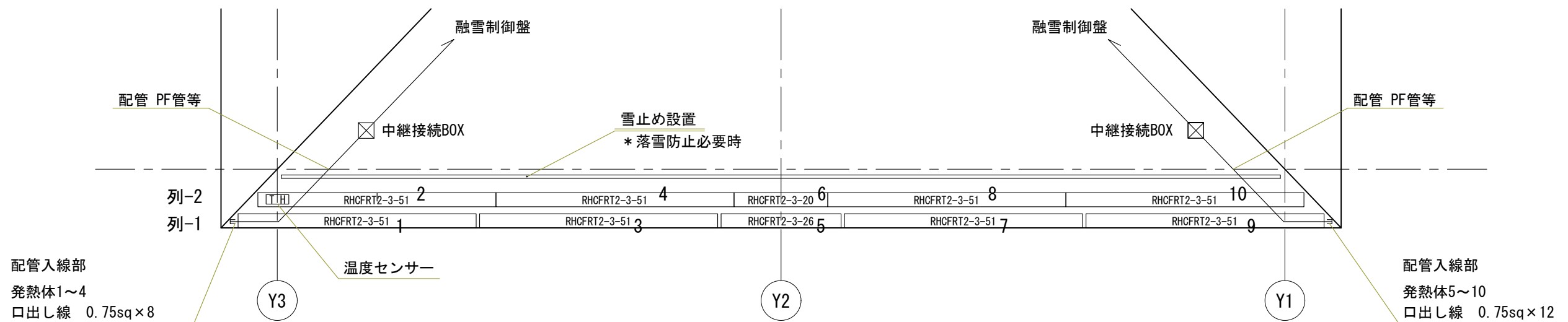
敷設例

融雪用途：軒先融雪

範囲：軒先 W230mm発熱体×2列

概要・要点

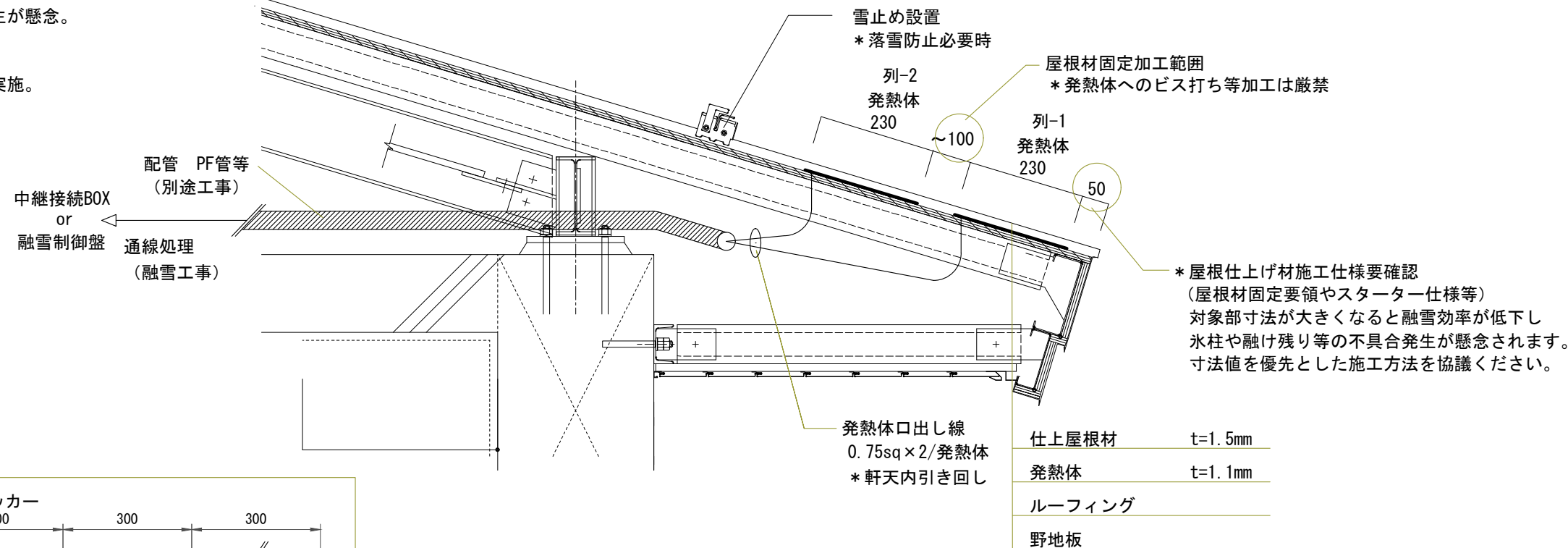
- ・列-1 発熱体間の隙間寸法は氷柱防止から50mm以内。
- ・落雪防止が必要な場合は雪止めを設置。



断面構成例

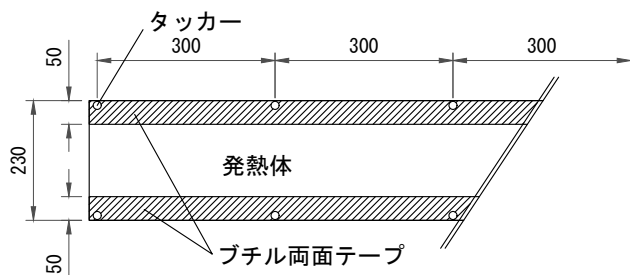
概要・要点

- ・軒先発熱体（列-1）の設置位置は軒先より50mm以内を要望。
屋根材仕様（固定方法、スターター等）を確認の上、要望寸法優先にて設置方法を協議。
寸法が大きくなった場合、融雪効果低下による融け残り等不具合発生が懸念。
- ・屋根材固定において発熱体への加工（ビス打ち等）は厳禁。
- ・軒天へ口出し線落とし込み下地加工部はコーキング等、防水処理を実施。



発熱体固定要領

- ・ブチルゴム両面テープ W50mm×L発熱体長 2列/発熱体1枚
- ・タッカー固定 2列/約300mmピッチ



DATE 2020/04/15	APPROVED BY	CHECKED BY	USER
SCALE FREE	DESIGNED BY T. KOYAMA	3RD ANGLE PROJECTION	TITEL 屋根融雪設備 設置概要図 (軒先融雪)
REV. MARK			DRAWING NO.
MISAWA SHOKAI CO., LTD 株式会社 ミサワ商会			